

# 大阪歯科技工士会北大阪支部

2014

## 「患者さんを意識した総義歯製作」

毎日の義歯製作において臨床の場での「悩み」は、初心者のみならず、ベテランでも経験することです。特に総義歯においては無くなってしまった口腔組織の3次元の空間に痕跡を見つけ出しその情報をもとに個々に違う患者様の健康美と機能を表現していかねばなりません。歯科技工士にとって知り得ない患者さんの生体や願望は大事な情報伝達として歯科医師と歯科技工士の連携における共有の食い違いや判断ミスなども悩みの一つです。大切なことは歯科医師と歯科技工士の共通な物差しを持つことだと思います。

どんな情報が必要なのかその情報をどう生かすのか。失敗しないための総義歯作りをするためには、生体に調和させるべく固い模型で作業する我々の業は、気が付かないままに硬組織と粘膜を関与する軟組織の判断が薄れがちである。“総義歯の設計”を今一度理解しながら、基礎的で実践的なデンチャーの臨床について、「分業」における歯科技工士の役割分担の中から、ステップごとに生体を意識した感覚や技術をわかりやすく悩みを解消しつつ解説できたらよいと思います。

### レクチャー

- 総義歯を設計するとは (Toda Denture System)
- コミュニケーションと連携
- 石膏模型から何が読める
- 基準点・基準線による作業模型の設計
- 健康美と機能を求めた人工歯選択と人工歯配列
- 咀嚼、嚥下、発音を意識した歯肉形成

平成25年3月吉日  
茨城県守谷市松前台 6-12-1  
0297-48-4041  
Dental Design Days  
歯科技工士 戸田 篤